

令和５年度 第８回さぬき市地域未来づくり会議 会議要旨

開催日時	令和５年１２月２６日（火）午後７時～午後９時
場 所	さぬき市役所附属棟 多目的室
出席者	[委員・コーディネーター] 計５名 折原委員、砂川委員、長町委員、池田委員、黒川コーディネーター
	[事務局] 計４名 向井審議監 プロジェクト推進室：大山室長、原田室長補佐、谷本主任主事
欠席者	なし
傍聴者	１名
次第	１ 開会 ２ 官民連携による提案制度の検討について ３ その他 ４ 閉会
配布資料	次第 資料１ 公共施設一覧（供給処理施設、消防施設除く） 資料２ 提案制度の流れ（案）
発言者	意見概要
座長	今日は、前回の会議で提案制度の話が出たので、これをさぬき市版の実施要項として会議の中で作り、市長にも見ていただき、直すところを指摘してもらったうえで、再度、練り直して年度末に成果報告をしたいと思う。今回はその実施要項の部分を作ることと、徳島市や他の自治体の事例でもあるが、市が所有している遊休不動産を利活用するような提案が多いのでその報告もできれば良いと思っている。 まずは資料の説明をお願いしたい。
事務局	（資料１、２）を説明
座長	市として提案があればありがたいというような施設はあるのか。
事務局	現状として、旧津田支所や旧大川支所は利活用なし、旧志度東保育所は地元に貸し付け、旧鶴羽幼稚園はこれから貸付の予定、旧松尾幼稚園は地元に貸し付け、旧富田幼稚園はシルバーに貸し付け、旧志度東幼稚園、旧小田幼稚園は地元に貸し付け、旧前山幼稚園は利活用なし、旧鴨部小学校は一部を使用、旧松尾小学校、旧神前小学校は民間に貸し付け、旧前山小学校、旧大串児童館は利活用なしといった状況である。その他の施設については、全て利活用している状況であるが、それぞれの施設のどの部分が使えるといったところまでは把握できていない。
座長	実際にテーマを決めるとなると、この中でも特に使っていない施設をいくつかピッ

	クアップし、提案対象物件一覧みたいな形で掲載する形になるのか。
事務局	現地視察や現地確認をすれば一番よく分かるのではないかと思います。
座長	それに関しては、この提案の流れの中で言えば、事前相談のところで現地視察を組み込めるのではないかと思います。
事務局	この施設を利活用できないかということで、テーマを決めて募集した時に、提案事業者に対し現地案内することはできると思う。現に阿南市の場合は現地視察を行っている。
座長	この話は具体的に実施要項を作っていく段階での話になると思うので、早速実施要項の検討に移りたい。
事務局	要件を地域のお年寄りのグループや高校生から提案してくることも対象とするのか、それとも企業だけにするのかも決めていく必要がある。
委員	個人や団体だけでなく非営利団体も対象としてはどうか。
座長	さぬき市が行っている地域活性化助成金の条件だと、市内に活動拠点を有し、5人以上で活動している団体で宗教活動等をしていない団体といったルールがある。
委員	申請する人の拠点がさぬき市ということか。
座長	活動拠点をさぬき市に有しているということだ。
事務局	阿南市は提案者の要件で、「提案内容を実行する意思と能力、ノウハウ、資金等を有する法人、営利法人、非営利法人等、又は個人事業主」とある。
座長	例えば、夏祭りなどのイベントであれば実行委員会が行うが、その場合は地元住民で構成されており、個人事業主でも法人でもないが、そういったケースは多いと思う。要望が多ければ追加するとかでも構わないのか。
事務局	徳島市や阿南市の場合は、市の大きい行政課題を解決するためのものだと思うので、イベント等の提案は想定していないのではないかと思います。
座長	予算要望ではなく許可についてはあると思う。例えばテアトロンを使った取組をしたい場合に市の後援を求めることはあると思うし、その場合は実行委員会が申請してくることになると思う。

委員	助成申請でなくイベントの後援をしてほしいとかはあると思う。
事務局	例えば、徳島市の募集要項にあるように、施設自体の魅力向上という部分であればテアトロンのことも考えられが、施設の中を使うことになると施設の賃貸借の部分になると思うので趣旨が違ってくる。提案する方がいくらで借りるといったことまで含めて提案してくるのかどうかは分からない。
座長	それは市として価格提示まで求めるかどうかだと思う。
事務局	徳島市の場合、解決したい課題があり、例えば市の資産を広告媒体として活用する提案であれば、解決したい課題としては、新たな財源確保策の創出や行政コストの削減、地域経済の活性化等を明記している。動物園の話であれば、解決したい課題としては、来園者数の増加や満足度の向上、収益増又は施設コストの削減といったことを明記しており、コストの削減の部分については、恐らく提案書には数値的なものが提示されるのではないかと思う。また、公開されているリストでは、位置図や現場写真、平面図のほか土砂災害の条件が明記されている。
座長	提案というよりは広く意見を公募するようなパターンに関しては、広く聞けた方がいいので高校生も入ると思うが、今回に関しては、阿南市の基準をベースにしたいと思う。徳島市のように法人格までとなると、個人事業主が対象とならない。分野については年度によるものだと思うので、要件の方の検討に移りたい。この会議の中で議論として出たことは、民間が得意なところを活かして行政サービスの効率化ができる部分であるので、その部分は要件に入れるとともに、一企業だけの営利目的にならない部分も必要だと思う。個人的には、早期解決を入れるかどうかだと思う。徳島市は、行政がやることは民間ではできない長期スパンのもので、早くできるものに関しては民間に任せるという前提があるので、早期解決を明記しているのではないかと思う。
委員	数字で決められた方が良くと思う。
座長	それは審査基準のところだと思う。応募できる前提のハードルに早期解決入れるかどうかだと思う。
委員	応募するかしないかの意思決定をするときに、早期解決というワードがふわっとしすぎている。時間軸は何を提案するにしても初期段階で考えないといけないところだと思う。これをやりたいけれど4年かかるといった場合、それが早期なのかということもあると思う。

委員	提案の内容にもよると思うが、予算が必要な場合や既存予算の転用の場合もあると思うので、早期ではなく遅滞なくという言い方ではどうか。どちらかという私は必要だと思う。
座長	１年で解決できることしか取り組めないという見方がある一方で２～３年かけた計画ができるという見方もある。
委員	内容によると思うが、現状の課題を解決するにあたって予測される期間よりも早くできるみたいな感じのニュアンスにしたらどうか。
座長	この会議で公式ＬＩＮＥの話があったが、それは行政サービスの話で空き家の話となると地域課題になると思う。既に行政がやっている取組かどうかで分かれると思う。この中にさぬき市としての意思を入れるかどうかだと思う。このあたりは市長にも聞いてみたいところかもしれない。要件と審査基準にさぬき市の色が出るかなと思う。構成員の中にさぬき市に住所があるというような要件を入れることはどうか。
事務局	幅広い方からの応募にはならないのではないかな。
座長	応募する際の提示する条件をどうしていくかで結構変わると思う。提案募集開始をどのレベルでやるかだが、徳島市は事業の概要、コスト、実施状況等を掲載した対象事業リストを公表するとあるが、それがないと現状からどれだけ削減されるという提案ができない。物件の場合はこのような情報になるが、コスト部分を除いた場合はこの会議で資料を提供していただいたような対応になると思う。市としてどこまで公表できる範囲なのかの検討が必要だと思う。
事務局	徳島市の対象事業のリストには、具体的なコスト等は載ってない。そもそもそういったテーマが設定されているかどうかは分からない。
委員	解決する課題によって違うと思うので、それはこれからの話し合いで確定していくことだと思う。
座長	公開可能な範囲と一文を入れてはどうか。
事務局	徳島市では公有財産の活用に関する提案の中で土地や物件の調書を掲載している。
座長	募集する内容に合わせて、臨機応変に変えていくことかなと思う。
事務局	徳島市では庁舎の余剰スペースを活用した新たな収益モデルであれば、自由な発想

	<p>による収益性のある事業展開が期待できる事業や、施設コストの削減に資する事業、地域活性化や市民の利便性向上に資する事業を市としては期待しているといったことを明記している。</p>
座長	<p>実際にテーマを決めた時に、このテーマであればどのぐらいの情報が必要かを考えていくというのが大事だと思う。募集要項で徳島市はテーマを5つ挙げているが、結局テーマを何にするかということになる。情報発信、空き家、移住については、民間が入ることによって改善される市の課題としてこの会議で扱っていたテーマであったので、そのテーマの中から選ぶことが一番良いと思う。空き家に関しては、空き家バンクの登録件数を増やすといったように制度にフォーカスするののかどうかで変わってくるところだと思う。さらにテーマを毎年どうやって決めていくのかということも決めないといけないと思う。この会議が今後も委員の入れ替わりもありつつ、民間の力を借りることできぬき市の課題解決につながるテーマを選んでいく機関として機能していくことはあり得ると思う。スケジュール感だが、徳島市は年明けから募集して年度内に採択するかどうかを決めている。詳細協議は4月以降からになっており、予算が必要なものは次の年度になっている。採択されたら、来年の予算に向けて半年かけて協議していく時間を取っている。</p>
委員	<p>さぬき市でも予算化しようと思えばそれぐらいの期間がかかると思う。</p>
座長	<p>あと気になっていることが、1月から3月に決めるということは、さぬき市の場合4月から募集するものが多いイメージはあるがどうなのか。</p>
事務局	<p>スケジュールを考えてみたが、例えば今回、市長に提案して実施するとなった場合、年度当初の4～5月頃から提案の募集を開始し、事前相談や質疑を夏頃まで受け付け、提案書の締め切りを7～8月頃とする場合、その後の書類審査やプレゼンが夏の終わりか秋ぐらいになる。そこから、予算要求をすると翌年の2月に議会に予算を提案し、議会の議決をいただいた後に、翌年度の4月以降から実施するという流れになると思う。</p>
座長	<p>これは単純に協議の時間の違いだけだと思う。</p>
事務局	<p>一度、徳島市に実情を聞いてみても良いのではないかなと思う。</p>
座長	<p>徳島市には協議時間は実際足りているのか足りていないのかは聞きたい。提案内容によるが一番ヘビーなものに合わせていた方が良いと思う。予算化が必要な場合は、結構時間がかかる気がしていて、9月頃に採択されることになると思う。担当課は忙しいと思う。本当は6月～7月ぐらいに採択結果が出ていれば予算要求までに4か月くらいは期間がある。</p>

事務局	今回は、初年度なので市長に提案してからのスタートになるが、２年目からは徳島市と同じようなスケジュールでやろうと思えばできると思う。
座長	実施スケジュールの叩き台を作っていただくことは可能か。
事務局	了解した。
座長	提出書類については、さぬき市が既に行っている補助制度に準ずる形で良いと思う。提案の審査についてはどうか。今年、香川県の関係人口の助成金の申請を津田エリアで申請したが、最初、書類審査があり、その後、現地でのプレゼンテーション審査があった。流れとしては、提案書の審査とプレゼンテーションの流れで問題はないと思う。問題は配点と審査員だと思う。提案制度の趣旨からすると、行政が実施するよりも市民サービスの向上が図れるかといった点は重要だと思う。逆に地域雇用の部分は公益的な視点が満たされているのであれば、重要視はしなくて良いのではないかと思う。独自の発想の視点も他で既にやっていることでも良い気がする。地域性と実現性の２軸だけでも良いと思う。
委員	１項目あたりの配点が大きくなると細かい審査基準が必要になると思う。
委員	審査員が何人で誰がやるのかということも重要だ。
座長	点数の高いものを採用するのか、下限を設けてそれ以下の場合は採用なしとするのかといったこともあって良いと思う。合計点が高くても実現性が低ければ採用しにくいので合計と各項目の下限もあって良いと思う。合格ラインが決まると、採用と継続協議と不採用の３つに分類し、例えば６０点以下は不採用、６０～８０点は継続協議、８０点以上は採用と言う形で明確に出来ると思う。あるいは、下限を一つでも満たしていない場合は継続協議、二つ以上は不採用としても良いと思う。
委員	審査員は複数人になると思うが、各項目に審査員が採点を付けてその平均をどのように扱うのかといったことも大事なのではないかと思う。
座長	それで言うと審査員が多ければ多いほど、審査員の影響度は減ると思う。香川県の時は行政職員４人だったが、総務省の場合は行政職員３人と民間の方が１人、大学の先生が１人であった。例えば、審査員の半数は関係する課の職員、半数はプロジェクト推進室の職員という形に出来ると、これまでの会議の体制に近くなると思う。担当課２名、プロジェクト推進室２名で、あと１枠は民間からの委員という５名体制とし平均で評価することも出来ると思う。民間の方が１人はいないと、事業が本当にできるかどうかの見分けが難しいと思う。

委員	今日のこの時点で、現状何割くらいできているかを把握してはどうか。
座長	実施要項に関しては文書を修正するぐらいだが、募集要項に関しては配点や項目を協議する必要があると思う。
事務局	阿南市では評価項目は5項目であるが、点数は明記していない。例えば100点満点するのであれば各項目20点とすることも考えられる。
座長	5項目ぐらいまで絞ってみてはどうか。地域性と実現性、効率性は必須だと思う。
委員	実現性の中身はどういったものか。
座長	実現性の中身は、収支計画に無理がないことと、安定的に担う体制や能力を有しているかという、お金と組織の部分だと思う。地域性は公益的な視点という気がする。提案して予算化できたけれども体制が整っていないのは良くない。
委員	独自の発想や工夫に基づく付加価値があるかどうかは、法令遵守しているかどうかといった部分が大事だと思う。
座長	法的適合性の部分は結構大事な気はしていて、採用となったものでも後から著作権の侵害となった場合に市が巻き添えとなる場合がある。阿南市では財政負担への配慮という項目で行政側の業務（職員負担も含め）、市のトータルコストが減っているかということを明記していてこれは参考にできるのではないと思う。市側としての項目もあって良いと思うので、行政側の業務（職員負担も含め）という一言入れてはどうか。個人的には配点は全部平等で良い気がしていて、下限だけ設けることで良いと思う。
事務局	採点といった部分よりは、具体的に何をテーマにするのかといったことが一番イメージしやすい話になるので、今まで話し合ってきた空き家や移住をテーマにすることで良いか。
座長	空き家、移住、情報発信の内、情報発信は行政側の要望となり、徳島市の余剰スペースを活用した新たな収益事業の創出に近いようなものになると思う。空き家だとテーマとして広すぎるが、空き家バンクだと狭すぎる気がする。空き家バンクにすると、運用コストからの差分のような計算はしづらく、収益の部分が描きにくい上、提案者もないと思う。徳島市のように公有財産の利活用に関する提案は一つ入れるべきだと思う。空き家をテーマするのであれば、空き公共施設の有効活用としてはどうか。

事務局	移住については、移住体験ハウスの話の中で移住にあまり結びついていないということであったので、例えばそういった施設を民間が運営したらどうかということも考えられるのではないかと。
座長	移住をテーマにした会議の時に、利用者が移住に結び付いていないという現状があったので、それに対し提案を受け付けることはあると思う。
委員	移住体験ハウスの予約状況をホームページで確認したが、津田の方はほとんど予約でいっぱいだったが、多和の方は予約があまり入っていない状況であったので、例えば中長期の滞在で仕事にもつながるように住宅代わりに使用することを含めて考えてはどうか。
座長	<p>例としてそういうことを挙げながら、多和の方はどう稼働させていくかというところをテーマにすることはあると思う。津田の方は安宿になっている問題もあるので移住率の向上が津田なら、稼働率の向上を多和にするとかといったようにそれぞれ内容を変えてもいいかもしれない。話は戻るが、行政の課題を解決するために民間に改善策を提案して欲しいものもあると思う。ただ、民間からの空き家バンクについての改善案は基本的には儲からないと思う。公式LINEの活用についても同じだと思う。行政からの課題も1つあっても良いと思っていて、これは予算とセットでプロポーザルに近いものになると思う。そのためこれは今回やらなくても良い気がしていて、最終的には地域課題の解決に民間のノウハウを使う部門と行政課題の解決に民間のノウハウを使う分野の2つを取り扱うが、まずはこの会議で話し合ってきた地域課題を民間のノウハウを使って解決することを来年度はやろうということかどうか。その反応をみて、制度として問題なさそうであれば、再来年度予算を考える時に予算とセットで民間のノウハウを入れたところを試してみることはあると思う。実際募集する場合の募集テーマをまとめたものを作って共有させていただき流れていきたい。</p> <p>以上で本日の会議は終わりたいと思う。</p> <p>お疲れ様です。</p> <p style="text-align: center;">～閉会～</p>